

新型コロナウイルス感染症の区内発生状況及び保健所等の取組について

1 発生状況の概要

7月下旬から8月上旬にかけて到来した第7波において、1日の感染者数や自宅療養者数が過去最多を記録した。また、一時期、区内のコロナ病床数を上回る患者が入院していたが、8月の旧盆前後から減少傾向となり、現在の発生数は、ピーク時の約1割となっている。しかしながら、年末から年明けに向け、第8波の到来やインフルエンザとの同時流行を懸念する専門家の意見等もある。区としては、全庁を挙げた応援体制及び民間事業者の活用などを継続し、引き続き区民の命を守る対策に取り組む。

2 区保健所の今までの主な取組（9月以降の実績等）

(1) 蔓延防止（患者等への対応）

- ① 疫学調査、入院勧告、患者及び濃厚接触者の健康観察※（継続）
- ② 発熱外来・検査スポット等の検査予約の調整実施（10月31日で終了）
※9月26日から、医師による保健所への発生届出対象者が65歳以上の方、入院を要する方、妊婦の方、重症化リスクがあり新型コロナ治療薬又は酸素投与が必要な方に限定

(2) 相談体制・連携体制

- ① 受診・相談センターと自宅療養者支援ステーションによる相談・支援業務の強化、多機能電話と録音装置の設置による電話応答の効率化・区民の利便性の向上・相談内容の正確な把握（継続）
- ② 基幹病院及び医師会等との対策連絡会を昨年末以来18回開催（11月11日現在）
- ③ 「自宅療養者支援検討会（医師会等）」を11回開催（11月11日現在）
- ④ 検体採取を実施する医療機関の従事者複数名の感染による休業又は診療の縮小期間の経営継続支援補助制度の実施（継続）
- ⑤ コロナ病床確保のための転院支援事業
区内10病院との協定に基づく転院患者 延べ35名（4月1日～9月30日実績）

(3) 医療・検査体制

- ① 4病院での「発熱外来・検査スポット」設置と医師会会員による輪番従事の実施（継続）
- ② PCR検査バスを活用したPCR検査の実施（継続）
- ③ 地域のかかりつけ医での発熱患者の診療又は検体採取の実施（10月31日現在：173機関）
- ④ 休日夜間急病診療所（保健所内設置）での発熱患者診察にPCR検査バスを活用（継続）
- ⑤ 東京都PCR等検査無料化事業に対する連携協力
検査数 計26,328件（4月12日～10月31日実績）
（内訳）阿佐ヶ谷駅前：10,671件、高円寺駅前：12,496件（6月22日～10月31日実績）等
- ⑥ 都の配布対象外である50歳代の有症状者に対する抗原定性検査キットの無償配布（都配布事業の対象者拡大を受け、9月25日で終了）配布数 650件（8月22日～9月25日実績）

(4) 保健所体制

- ① 派遣職員（看護師等）による積極的疫学調査や入院調整等への増配置
- ② 委託を含む業務の見直しと感染状況に合わせた保健師及び事務職員の適切な応援体制の構築
- ③ 区直営のPCR検査判定の実施（生活衛生課分室：旧衛生試験所）（継続）
- ④ 保健予防課に対する応援体制や増員配置による執務室の確保（区施設を活用した転用等）

- ⑤ 自宅療養者に対する都と保健所の役割分担を明確化した上で、保健所対象者の支援を強化(継続)
- ⑥ 自宅療養者への医療提供の充実
自宅療養者の重症化予防のため、医師会及び区内訪問看護ステーション事業者の協力により、在宅訪問診療及び訪問看護体制の確保(継続)

(5) ワクチン接種体制

- ① オミクロン株 BA.1 に対応した 2 価ワクチンの接種を 9 月 26 日から集団接種会場で開始し、11 月 1 日からは、オミクロン株 BA.4-5 (モデルナ社は除く) に対応した 2 価ワクチンを接種
- ② 12 歳以上のワクチン接種は、10 月 21 日から接種間隔が前回接種から 3 か月に短縮
- ③ 生後 6 か月から 4 歳以下の対象者へ接種券を 11 月 1 日に約 1.8 万通発送し、区内医療機関 7 か所と乳幼児への接種体制を確保するための業務委託契約を締結し、11 月 9 日から接種を実施
- ④ 高齢者などに対する季節性インフルエンザワクチンの自己負担額免除 (10 月～1 月)

3 今後の主な取組

区内における年末から年明けにかけて到来が予想されている第 8 波及び季節性インフルエンザとの同時流行に備えた体制を整える。

(1) 区民周知・啓発

広報すぎなみ (12 月 1 日号) や区ホームページを活用し、各個人による抗原定性検査キット及び解熱鎮痛薬の事前確保や、発症時の年齢、基礎疾患に沿った相談体制、医療機関案内などを周知するとともに、早期のワクチン接種の検討を呼びかけることで、区民一人ひとりの自主的な感染予防行動の周知徹底を図る。

(2) 相談体制・連携体制

- ① 受診相談体制の強化
 - ・受診・相談センター及び自宅療養者支援ステーションの委託先との連絡・調整等
 - ・相談内容の振り分け機能の導入、相談マニュアルの見直し等による更なる業務効率化
- ② 陽性患者管理システムの効果的な運用
 - ・感染状況や制度改正に合わせた陽性患者管理システムの修正・活用
 - ・派遣看護師の 1 人当たり疫学調査数を増やすため、疫学調査票の見直し、研修・指導等を実施
- ③ 基幹 4 病院・医師会等との対策連絡会など必要な会議は随時開催し、情報共有・連携体制を継続

(3) 検体採取・検査体制

- ① 発熱患者の診療又は検体採取を実施する地域のかかりつけ医の継続確保
- ② PCR 検査バスを活用した PCR 検査 (モニタリング) は感染状況を踏まえた上で継続
- ③ 障害者施設を中心とした自己検査キットの事前配布

(4) 保健所体制

- ① 更なる業務の見直しによる保健師及び事務職員の応援体制の検討
- ② 区職員による PCR 検査判定の実施 (生活衛生課分室) (継続)
※季節性インフルエンザの同時流行を見据え、有症状者に対し、新型コロナウイルス及びインフルエンザウイルスの同時 PCR 検査を実施 (鼻咽頭ぬぐい液または鼻腔ぬぐい液に限る。)

(5) ワクチン接種体制

インフルエンザとの同時流行と第 8 波に備えるため、12 歳以上のオミクロン株対応ワクチンの接種を年内に完了することを目指し、接種体制の確保を図る。

【杉並区における新型コロナウイルス感染状況の概要(令和4年11月13日現在)】

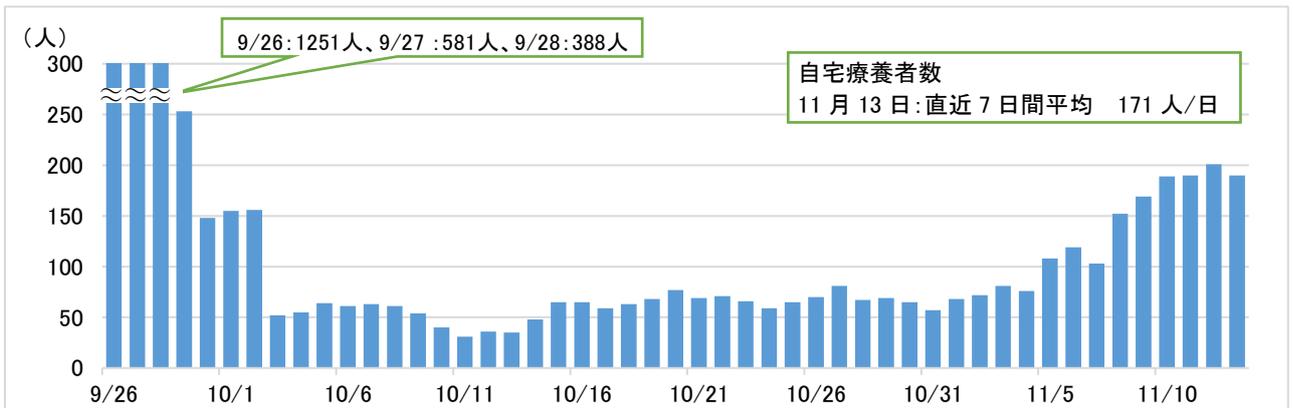
令和4年9月26日から新型コロナウイルス感染症の発生届方式が変更され、届出対象が、①65歳以上の者、②入院を要する者、③重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な者、または、重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な者、④妊婦に限定化された。

(1) 新規患者発生数



※発生届方式変更後(9月26日以降)の新規患者発生数は、区内医療機関からの新型コロナ患者数報告による

(2) 自宅療養者数 (令和4年9月26日以降)



※発生届対象者のうち自宅待機・自宅療養となった人数

(3) 日別病床数・病床利用率(区内5病院)



※病床利用率が100%を超えるのは、コロナ専用病床以外の一般病床での患者の受入れ数を加えたため

○杉並区 新型コロナウイルスワクチン接種状況

【令和4年11月15日集計】

(1) 年齢別接種数累計と接種済者割合

12歳以上

区内人口① (令和4年11月1日時点)		【従来型ワクチン】 初回(2回目)接種数② ／接種率(②÷①)		【従来型ワクチン】 3回目接種数③ ／接種率(③÷①)		【従来型ワクチン】 4回目接種数④ ／接種率(④÷①)		【2価ワクチン】 3～5回目接種数⑤ ／接種率(⑤÷①)	
65歳以上	120,245	111,899	93.1%	108,353	90.1%	97,073	80.7%	29,832	24.8%
60～64歳	30,419	27,560	90.6%	25,529	83.9%	18,241	60.0%	6,636	21.8%
50～59歳	83,590	73,822	88.3%	63,674	76.2%	10,837	13.0%	14,495	17.3%
40～49歳	90,428	78,323	86.6%	60,725	67.2%	5,684	6.3%	10,189	11.3%
30～39歳	86,582	75,709	87.4%	53,542	61.8%	3,387	3.9%	7,096	8.2%
20～29歳	80,319	61,062	76.0%	39,850	49.6%	2,143	2.7%	4,419	5.5%
12～19歳	31,079	21,900	70.5%	13,633	43.9%	90	0.3%	2,288	7.4%
計	522,662	450,275	86.2%	365,306	69.9%	137,455	26.3%	74,955	14.3%

5歳以上11歳以下(小児接種)

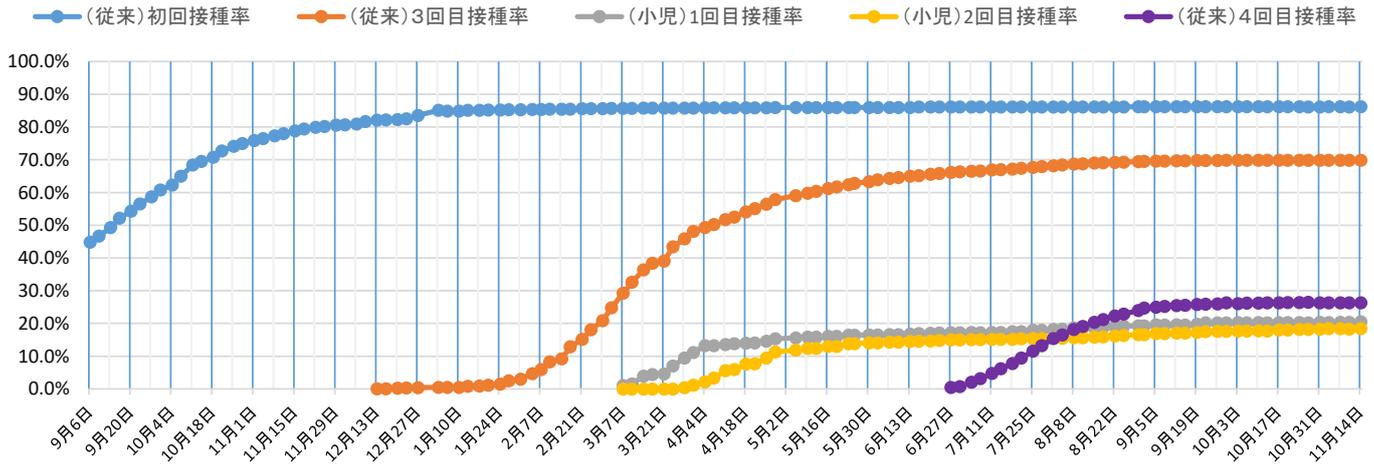
区内人口 (令和4年11月1日時点)		1回目接種数／接種率		2回目接種数／接種率		3回目接種数／接種率	
5～11歳	28,621	5,876	20.5%	5,276	18.4%	1,354	4.7%

※接種数はワクチン接種記録システム(VRS)に登録されている数値であり、実際の接種数とは異なる。また、区内の集団・個別接種会場及び全国の大規模接種会場や職域接種などでの接種を含めた数値である。

※初回(2回目)接種数及び接種率には、1回目接種のみの接種者は含まれない。

※2価ワクチンとは、従来株に由来する成分とオミクロン株に由来する成分の両方を含むワクチンを指す。

< 接種率の推移 >



※(小児)3回目接種率及び2価ワクチン接種率は、数値が微小ため、推移表には掲載していない。

(2) 区内各集団接種会場、病院、診療所の接種実績内訳

	11月7日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	週計	接種数計
集団接種会場	3,213	3,147	3,109	3,225	3,339	2,716	2,878	21,627	782,111
個別接種／病院	24	94	46	44	46	6	0	260	75,068
個別接種／診療所	402	633	479	473	684	787	113	3,571	265,234
合計	3,639	3,874	3,634	3,742	4,069	3,509	2,991	25,458	1,122,413